



産大生と地域のかげ橋

ローカレッジ

Local × College

地域とコラボしちゃいました♡

～新潟産業大学×地域の商品開発～

大学生が地域や企業と連携して、地元の資源から商品を開発、パッケージの作成から販売まで、商品の流過程を一から学ぶことで、市場に流れている商品とは一体どのようにして作られているのか経験することができました。

ここでは、自分たちが作った商品を『大学は美味しい!!フェア』で実際に販売するまでの過程を紹介し、実際に商品を売った感想などを取材しました。

※ 紹介している商品は、平成27年5月現在のものです。現在購入できないものもあります。

えちゴンも
参加したゴン!!





第8回「大学は美味しい!!フェア」に参加しました!

「大学は美味しい!!フェア」とは全国各地の大学で、教授と学生たちが食品開発に携わった「大学発」のうまいものを紹介する新宿タカシマヤの人気イベントです。新潟産業大学は平成27年度で参加3年目となり、複数のゼミナールが柏崎市の企業と協力し、地元食材を使用した商品開発に挑戦しました!



例年、学園祭でお米の販売を行うだけでしたが、この美味しいお米を使ったお菓子を作りたいと考え、地元のお菓子店「新野屋」に協力を依頼し、柏崎産米「綱代挽」をベースに「真

阿部ゼミナールでは「地域通貨を使った棚田保全と地域経済の活性化」の一環で、新潟県柏崎市の農家の協力のもと、手懸えで無農薬はさ掛け天日干しのお米づくりを行っています。この取り組みは、阿部ゼミナールの3、4年生で農作業を中心に日々活動しています。4月の田起こし、地ならしをし、5月に田植え、7月に草刈、9月から10月には収穫を協力して行っています。

「米づくりで 柏崎の経済を元気に」

経済経営学科
阿部ゼミ
たな米



の味「たな米」を商品開発しました。次いでどり辛味の「風輪」やもち米でできたかたちもちの販売も行いました。「大学は美味しい!!フェア」に参加し、お客様に試食をおすすめしながらの店頭販売を行いました。大きなデパートでの販売は緊張感いっぱいでしたが、実際に宣伝をして販売につなげることがとても難しく、声を出し試行錯誤しました。自分たちの作った商品が売れていくのはとても嬉しく感じ、貴重な体験となりました。阿部ゼミナールに所属している経済経営学科3年の島田さんは、「自分たちが取り組んでいることが知ってもらいたい機会であり、風輪通貨と一緒にこれからも地域活性化に取り組みしていきたい」と話しています。





▲稲刈りの様子(上)、実際の風輪通貨(下)

地域通貨でまちを活性化!

阿部ゼミナールでは、お米での地域活性化の活動だけでなく、地域通貨を発行し地産地消を進めています。地域通貨とは、限られた地域の中で流通する通貨のことです。学生が地元のお店に協力をお願いし、通貨の使える協賛店となってもらいながら地域コミュニティの活性化も目指しています。地域通貨は「米」と「市民の善意」から成り立っており、通貨の愛称は「運輪通貨」と名付けられています。由来は「風のまち柏崎で人と人とを繋ぐ輪」となるように願いを込めたそうです。

今後はさらにゼミナールでの活動を市民に知ってもらうよう、稲作活動や地域通貨専用のHPを作成します。これからも柏崎が元気になれるような通貨として地元を盛り上げていければいいと思います。



▲ビジネスコンテスト授賞式の様子

十日町ビジネスコンテスト フランを商品化!

金ゼミナールでは、観光ビジネスをテーマに学んでいます。昨年十日町ビジネスコンテストに参加し、三位入賞を果たしました。入賞フランは、「縄文クッキー」おうくんとかえんちゃん



クッキーとハーブティーの相性がよく、とてもオススメですよ!!



「商品は話題性のある商品にするため、イメージキャラクターや6コマ漫画を入れて学生が可愛くデザインしました。イメージキャラクターである、少年「おうくん」と少女「かえんちゃん」は王冠帽、火燗型の土器に由来したイメージキャラクターです。クッキーセフトには、稲穀・木の実

です。2020年、東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定された直後から、十日町で発掘された国宝・火燗型土器(十日町市博物館所蔵)を東京オリンピックの聖火台のモチーフに採用されることを願い、入賞フランを柏崎市内にある食店「最上屋」、十日町「なごみの家」に支援をお願いし、商品化することができました。

類が入った四種類のクッキーと十日町産のハーブティーが入っていてボリュームがあり、多くの方に楽しんでいただける商品になっていると思います。

「大学は美味しい!!」フェアでは、クッキーの試食やハーブティーの試飲をすると、「どちらも美味しいわ!!」という感想をいただき、あつという間に人気商品となりました。学生もお客さんとの会話を深出して、自分たちが行う地域活性化の活動をアピールすることができました。これからも十日町と柏崎に多くの観光客が訪れ、二つのまちが元気に輝けると嬉しいですね!





留学生が田舎体験！ 「高柳を活性化させたい！」



ウリジバヤルゼミでは、留学生十名が在籍にある門出地区を訪れ、地域活性化について学んでいます。田舎体験や日本の伝統文化に興味を示してほしいという思いから地域交流を始めました。地域交流で実際に足を運ぶ中で、門出地区にはどんな資源があるのか、それを生かして町を活性化できないかを地区の人と意見を交換しながら考えました。そこで見つけたのが、地域

ウリジバヤルゼミ
(留学生クラス)
ふふ豆

間で見つけていた「青大豆」が寄せられ、「門出にぜひ一度行ってみたい」ととても美味しくてまた食べたい」という意見をいただきました。これらの意見を大切に、今後も地域活性化に取り組んでいきたいと思っています。

また、モンゴル出身の留学生が多いため、「青い」をモンゴル語の「*ホフ*」に変え、「*ふふ豆*」と名付けました。「*ホフ*」では、お客様とスムーズに会話ができるかと不安もありましたが、一生懸命丁寧に説明する姿勢から、予想以上のお客が集まってくださり、「*ふふ豆*」は無事に売れました。「*ホフ*」を購入してくださった方からは、後日アンケートが寄せられ、「門出にぜひ一度行ってみたい」ととても美味しくてまた食べたい」という意見をいただきました。これらの意見を大切に、今後も地域活性化に取り組んでいきたいと思っています。



柏崎にたくさんの観光客が来ますように...♥ ～老舗の味「ほしくろ羊かん」 小さなお花と心をこめて～



柏崎ゼミナールでは、老舗和菓子屋新野屋の名産である「くろ羊かん」をもっと多くの人に知ってもらい柏崎に足を運んでもらいたいという思いから、商品開発に踏み出しました。今回のコンセプトは、「ちよ」と響きをラブリー羊かん」です。これは特に若い人たちが女性向けに作った商品で、羊かんをハート型にくり抜き、その上には阿賀野市の専門農家で育てた食用



経済経営学科
権田ゼミ
ほし♥クロ

Thank you.



花のエディブルフラワーを添えて可愛く美味しく仕上げました。
権田ゼミは今回で二回目となる「大学は美味しいフエア」への参加でしたが、昨年の反省を生かし、お客さんとの会話を大切に、プーイス内がスムーズに運営できるように皆で協力し頑張りました。その甲斐もあり、柏崎や大学の魅力を知ってもらうことができました。「ほしくろ羊かん」もいろいろな世代の方に手に取ってもらうことができ、自分たちが考えた商品を販売できる嬉しさも感じる事ができて良かったです。
今回も楽しくイベントを終えることができました。協力してくださった皆さん、ありがとうございました♥